

北の森林 国有林



北海道森林管理局



心洗われる湖畔の風景・支笏湖に映る風不死岳^{ふっぶし}
(支笏湖ポロピナイキャンプ場・関連記事13ページ)



国民の森林・国有林

地球を守る木 みんなの財産国有林



テープカットで開幕!



山の恵みフキ、ウドなどは大人気。



森林からの恵みを求め
たくさんの来場者の笑顔あふれる

第22回 **もり** 森林の**市**

●●●●● 盛大に開催! ●●●●●

私たちの生活と深い関わりを持ち、限りない恵みを与えてくれる森林。その森林から生産される木材の良さなどを広く市民のみなさんに理解してもらうために5月31日(土)、「第22回 森林(もり)の市」(森林の市実行委員会・北海道森林管理局主催)を札幌市厚別区「ふれあい広場あつべつ」で開催しました。



大勢の来場者で賑わう会場。出店のぼりが雰囲気さをさらに盛り上げます。



③



②



①



⑥



⑤



④

①緑の募金には沢山のみなさんにご協力いただきました。②③掘り出し物の木製品がいっぱいです。④お祭りムードを盛り上げる焼き鳥屋さん。⑤カミネッコンで苗木ポットづくり体験。⑥おがこアートコーナーでは、時間をかけてじっくり作品づくり。

楽しいこと
いっぱい!

朝十時からのオープニングセレモニー・テープカットで開幕すると、会場前列を作っていた沢山のみなさんが、一斉にお目当てのコーナーへ直行！
北海道、札幌市、木材関連団体、木製品販売業者、森林管理署などの三十三店舗が並んだ場内には賑やかな歓声と笑顔があふれました。

また、販売コーナーでは、ウドなどの山菜やきのこ類が今回も人気を集めたほか、各店舗が様々な工夫を凝らした木製品は見る目も楽しく、活気にあふれていました。
展示コーナーでは、ペレットストーブの実演に多くの方が訪れ、環境にやさしい暖房器具として高い関心が集まりました。
毎年恒例の行事となった本イベントを通じ、森林の役割や大切さ、木の良さを市民の皆さんにPRする実りある一日となりました。
(販売第一課)



⑦

⑦自宅でキノコ栽培。キノコのブロックも大人気。⑧鳥の巣箱づくりコーナー。子どもたちが一生懸命作っていました。⑨押し花を散りばめたパウチしおりづくりに、みなさん熱中。⑩環境に優しい暖房器具、灯油価格上昇もあり、ペレットストーブコーナーでは担当者に熱心な質問が寄せられていました。



⑩



⑨



⑧



応援 します！ 知床の森林づくり ボランティア

この施設は、知床世界自然遺産を楽しみに訪れる多くの方々に立ち寄っていただける知床の森林の情報発信の場として、また森林ボランティア活動等に関する研修や意見交換、森林づくり活動を行う団体の活動拠点として活用いただくものです。

木造平屋建て、延床面積

北海道森林管理局では、世界自然遺産に登録された豊かな生態系を有する知床半島において、国民の森林づくりに対する気運や地球温暖化防止対策等に対する意識を高めていくため、知床の森林をフィールドとし、個人、企業、団体等の多様な主体の参加による森林づくり活動・森林環境教育活動を推進するための取り組みを実施しています。

この取り組みの一環として、五月九日(金)、斜里町ウトロ地区の国設知床野営場内に「知床ボランティア活動施設」をオープンしました。

北海道森林管理局では、世界自然遺産に登録された豊かな生態系を有する知床半島において、国民の森林づくりに対する気運や地球温暖化防止対策等に対する意識を高めていくため、知床の森林をフィールドとし、個人、企業、団体等の多様な主体の参加による森林づくり活動・森林環境教育活動を推進するための取り組みを実施しています。



は約三二〇平方メートル。レクチャースペース、会議室、作業室などが用意されています。

当日、午前に行われた開所式では、来賓の村田斜里町長らがテープカットをして完成を祝いました。

- ### 知床ボランティア活動施設
- 住所 斜里郡斜里町ウトロ (国設知床野営場内)
 - 開館時間 9～16時 (7・8月は19時)
 - 休館日 水曜日及び年末年始
 - 利用施設 会議室・レクチャースペース・作業室
 - 利用料金 無料
 - 利用申込・問い合わせ 北海道森林管理局 知床森林センター 電話 0152-23-3009
 - ホームページ <http://www.shiretoko.go.jp/>



午後からはオープンを記念して地元のウトロ小中学校の五・六年生を招待し、紙芝居を使った森林学習会と木工教室を行い、楽しいひとときを過ごしました。(指導普及課)

林野庁長官 北海道の林産業を視察



素材加工流通センターで(株)サトウの秋元社長(左)から説明を受ける井出林野庁長官(中)と山田北海道森林管理局長(右)



五月三十日から六月一日にかけて、井出林野庁長官が、美しい森林づくり、間伐の推進などの施策を進めていく上で、現地の実情や関係者の取り組みを知るために来道し、十勝・北見・上川管内の製材工場や間伐実行現場などを視察しました。

一行は帯広市でカラマツの素材生産から製材、人工乾燥、加工、商品化までの一貫生産を行っている(株)サトウの工場、足寄町で各地から集められた原木の用途に応じた仕分けによる流通の効率化、生産性の向上に取り組んでいるフォレスト十勝の素材加工流通センター(写真①)、続いて間伐を行っている同町茂足寄地区の国有林(十勝東部森林管理署)で、高性能林業機械による一連の間伐作業(写真②)を視察しました。

この他、津別町の丸玉産業(株)の合板工場、置戸町の森林工芸館、紋別市の佐藤木材工業(株)の集材工場及び森林認証を取得した国有林個所、上川中部森林管理署管内などを視察しました。

また、十勝東部森林管理署に立ち寄り「今後、国有林野事業は改革の検討が本格化するが、綱紀粛正、法令遵守、適正な事業執行を確保し、日々の職務に邁進して成果を挙げ、地域や林業の活性化に貢献する姿を示してほしい」と職員へ訓辞しました。

(業務調整課)



調印後に握手を交わす3者代表

テレビ局が「美しい森林(もり)づくり」に貢献!!

【石狩署】五月三十日(金)、KKRホテル札幌において、札幌テレビ放送(株)、(社)北海道森と緑の会、石狩森林管理署の三者は、「STVの森」づくりを森林ボランティア等と協働・連携して実施するための覚書

を締結しました。これは平成十六年に台風被害を受けた支笏湖周辺国有林で、北海道にふさわしい豊かな生態系を育む森林を創り、育て、将来の世代に引き継ぐことを目的に結ばれたものです。

今後は、フィールドを提供する「国有林」、国民参加の森づくりの活動とその資金を提供する「STV」、森林ボランティア等と連携してSTVの森の森林整備活動を行う「北海道森と緑の会」の三者のコラボレーションで「美しい森林(もり)づくり」に貢献していきます。

九月二十八日(日)には植樹行事を予定しており、面積一・九二畝にトドマツなど二〇〇〇本を植栽し、次年度からは下草刈りなどの保育作業を五年間実施していくことにしています。

(杉村 流域管理 調整官)



地元と共に歩む国有林

地元史に残る地域とのつながりをこれからも

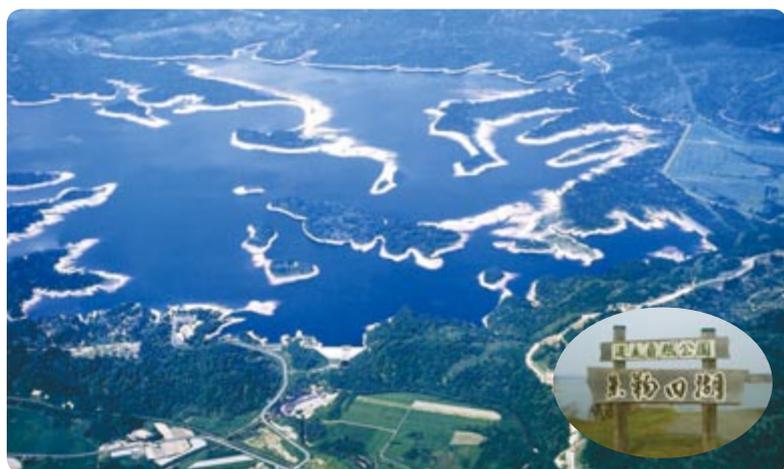


空知森林管理署
北空知支署 支署長
佐渡 英一

北空知支署が所在する幌加内町の広報誌に「幌加内町史」という連載コラムが

あります。これは先人たちの並々ならぬ苦勞と開拓精神により、今日の近代的な

社会生活を営む礎が築かれたことを改めて思い起こすことが目的のようです。



日本最大の人造湖「朱鞠内湖」。湛水面積は2,373ha！

その中には度々国有林との関係が話題となった出来事を紹介する記述があり、例えば：町内にある「ほろたちスキー場」が完成するまでの項では、当時（昭和二十六年頃）国有林内にスキー場が作られないものかと関係者が腐心していたところ、営

林署で職員のスキー技術向上のためにスキー場を作る

との話があることを聞きつけ「一般村民への開放を願

と続け、ようやく今のスキー場が誕生したと伝えられています。

このように国有林と地元とは協力し合い、時には話し合い、一緒に歩み続けてきたのです。

当支署では全職員で開かれた国有林を指し業務を進めており、今後も地元と共に歩んでいきたいと考えています。

さて、話は変わりますが、みなさんの夏休みの計画はもうお済みでしょうか？

ここ北空知地方の観光についていくつか紹介したいと思います。

まず、キャンプを計画の方はぜひ幌加内町の「朱鞠内湖」へ、パークゴルフな



朱鞠内湖キャンプ場
人造湖とは思えない程、周囲の豊かな自然に溶け込み美しい景観を見せる朱鞠内湖で楽しいキャンプを！



幌加内町広報の「幌加内町史」に紹介されている「ほろたちスキー場」誕生秘話

治山最前線 富良野の国有林治山



実り豊かな農業地帯の水源林を守る

山地の保全・災害復旧などの治山事業を現地で担う各地の治山事業所からのレポートを紹介します。



間伐材を活用したハイブリットダムと植栽工



上川南部森林管理署
富良野治山事業所

国有林を水源とする金山湖（南富良野町）

東方に火の山大雪山系十勝岳、西方には秀峰夕張山系芦別岳がそびえ、南方には東大演習林の大樹海に囲まれた富良野盆地の中心部、富良野市に富良野治山事業所があります。

同市は、咲き誇るラベンダーが彩る美しい風景、倉本聰原作のテレビドラマ「北の国から」や「優しい時間」などの舞台、またスキートのワールドカップが開催された富良野スキー場などが全国的に有名な観光都市です。

石狩川水系の最大支川である空知川とその支流富良野川が合流し形成された扇状地は、富良野地域の基幹産業である農業に豊かな実りをもたらします。

この農業地帯のかんがい用水は、そのほとんどが国有林から供給されており、山の冷たい沢水を直接田畑に使わず、大きな溜めを階段状に配置し、沢水を温めてから下流に流す温溜池が国有林との境界に数箇所配

置されています。

このため、水源の国有林での治山事業への関心も高く、下流域のみなさんへの工事概要説明は欠かせません。

また、治山事業所については、環境との調和・景観に配慮した工法を積極的に取り組んでおり、受益者のみなさんが安心して暮らせるよう、また「美しい森林づくり」の一助となればと思います。

富良野治山事業所

- 富良野市栄町17-1
- 電話0167-23-8600

今月のレポーター

上川南部森林管理署
治山課長 本田 秀樹



キロロにタケノコ採りに行こう!

昨年初めて開放し好評だった赤井川村の「キロロたけのこ自生園」(八十二畝)が今年も開園します。

ぜひ、キロロで旬のたけのこと、山頂から広がる素晴らしい眺望の中で初夏の楽しい一日をお過ごし下さい!

- 場所 赤井川村キロロリゾート・ゴンドラ山頂駅
 - 開園期間 六月二十日～二十九日(予定)
 - 開園時間 9時15分～15時(最終入場は13時)
 - 入園料金 大人1300円・小学生800円・幼児100円(ゴンドラ及び保険含む)
 - 問い合わせ 0135-34-7111
<http://www.kiroro.co.jp>
- (赤井川野外スポーツ林 管理運営協議会)



苗木をていねいに植え付ける中学生

サミット記念に「水源を守る」植樹祭

駒ヶ岳・大沼森林環境保全ふれあいセンター

森林環境保全 ふれあいセンター

通 信



森林環境保全ふれあいセンターは、国有林をフィールドとした自然再生や生物多様性の保全、森林環境教育などの活動を支援しています。

五月十八日(日)、「水源を守る市民参加の植樹祭」(21世紀の道南の森林づくり事業実行委員会・函館東ロータリークラブ共催)が、昨年一月の強風で壊滅的被害を受けた函館市の水がめである赤川水源地の隣接地において、北海道洞爺湖サミットを記念して開催されました。

当日は、好天の下、保育園児、中学生ら総勢五〇〇名の参加者のみなさんと、風に強く多面的機能を有する森林の早期回復を目的として、一鈴の区域にミズナラ、ブナなど五種類の広葉樹の苗木一七〇〇本を植え付けました。

この森の再生への願いを込めて一本一本、一生懸命植える参加者のみなさんの姿には、森林づくりに対する情熱が強く感じられました。

今後の樹木の生長をみなさんとともに見守っていきたいと思っています。

(窪田 自然再生指導官)

五月二十四日(土)、雷別ドングリ倶楽部の今年度初めての活動を行いました。

当日はまず、雷別地区自然再生事業の試行実験区に植栽した広葉樹苗木の生長観察と植栽木への番号札の取り付け作業を行い、続いて、当倶楽部独自の手作り植物図鑑を作成するためのデータ収集としての植物・樹木のデジカメ撮影を行いました。

また、昨年採取した広葉



苗木の生長を確認しながら、番号札の取り付け作業

ドングリ倶楽部の活動始まる!

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター

樹のタネから芽生えたミズナラ、ヤチダモ、キハダ、イタヤカエデの観察などを行った後、今年度の活動計画について話し合いました。

今年度も部員のみならずと一緒に、雷別での自然再生事業に参加する市民の活動を支える「縁の下の力持ち」として、色々な方法を取り入れながら楽しく活動していきたいと考えています。

(白藤 自然再生指導官)

五月十八日（日）、北海道開拓記念館との共催で「野幌の森の今を知る」と題した公開講座を開催しました。

これは、野幌国有林で市民と協働で「百年前の原始性を感じられる自然林の再生」を進めるにあたっての科学的なモニタリング調査で得られた知見を、市民のみなさんに広く知っていただくために五名の研究者の



100名を超す受講者で満員となった公開講座

公開講座

野幌の森の今を知る

石狩地域森林環境保全ふれあいセンター

方々に講師をお願いして行ったものです。

どの講演も、過去の写真や台風被害前のデータなどと比較しながらわかりやすく説明され、受講者は感心しながら聞き入り、多種にわたった熱心な質問も出されていきました。

また、当センターからは、この冬に行ったエゾシカ調査の報告も行いました。

（堀川 自然再生指導官）



パネル展には沢山の来場者が足を留めてくれました

森のパネル展と樹名当てクイズで出展

～緑と花の春の園芸祭～

常呂川森林環境保全ふれあいセンター



樹種当てクイズにみなさん真剣に挑戦中
「五枚の葉をよく見て樹種を当ててくださいね！」

五月三日（土）、北見市のサンatorium北見で開かれていた「緑と花の春の園芸祭」に出展し、当センターの活動とオホーツクの森の四季のパネル展と、樹名当てクイズを行いました。

このイベントは、昭和十年頃に始まった、北見地方の歴史ある緑化運動のさきがけと言えるものです。

当日は好天に恵まれ出足も好調、園芸祭を訪れた大

勢の市民が当パネル展の前で足を留め、樹名当てクイズにも挑戦し、樹木に関心をもってもらうことができました。

北見地方がどんどん緑でいっぱいになっていくことを実感した、楽しい一日になりました。

（栄 自然再生指導官）



緑の募金活動

4月25日（金）、北見駅前大通において、北海道森林管理局北見事務所と当センターでは、緑と花の市民の会、きたみ菊の女さきなど9つの市民団体のみなさん90名と街頭に立ち、「緑の募金マで防ごう地球温暖化」をテーマに、道行く市民のみなさんにの募金への協力を呼びかけ、多数の協力と温かい言葉をいただきました。

みんなで育てる未来の森林

新緑がまぶしい季節は木を植える絶好のシーズンです。

各地から届いた森林づくりの話題をお届けします。



1400名！ 支笏湖の森林再生に集う

【胆振東部署】5月18日、樽前山麓（苫小牧市）の国有林で（財）イオン環境財団主催の「北海道支笏湖植樹祭」が開催され、国内・アジア各国から集まった1400名のみなさんが植樹に汗を流しました。

国際 ソロプチミスト 江差の森



【檜山署】5月22日、チャリティーの収益で植樹活動を行っている国際ソロプチミスト江差のみなさんが18回目となる植樹を行い、上ノ国町目名の沢国有林にヒバの苗木30本を植え付けました。



檜山ゆかりの木 ヒノキアスナロを 増やそう！

【檜山署】毎年、檜山管内各町を順番に回って行われている「檜山の森づくり植樹祭」が、今回は5月18日に乙部町で開催され、270名のみなさんが植樹とサクラマスの放流を行いました。

国有林OB サミット記念 植樹会



【石狩署】5月23日、国有林OB有志による「にれのき会」のみなさんが、野幌国有林でエゾヤマザクラ、トドマツ、ハルニレの苗木を植え付けました。



環境のためにできることを考えて行動しよう 中標津町で全道植樹祭

【企画課】5月25日、中標津町運動公園において「増えていく町のみどりとみんなの笑顔」をテーマに「第59回北海道植樹祭 in なかしべつ」（主催 北海道・北海道森林管理局）が開催され高橋知事、西澤町長のほか町内外からの2000名の参加者が、二酸化炭素吸収能力に優れたグイマツの雑種「クリーンラーチ」のほか、チシマザクラなど2100本の苗木を植え付けました



大樹町 開基80周年 力を合わせて 町民植樹祭

【十勝西部署】5月18日、大樹町を眺望できる^{もいおやま}萌和山で、同町の開基80周年記念町民植樹祭と漁民の森植樹祭が開催され、町内外から300名が集まりました。

参加者のみなさんは、エゾヤマザクラ、アオダモなど7種1700本の苗木を、傍らに咲くカタクリやオオバナノエンレイソウの花々を眺めながら植え付けました。

サミット記念 美しい森林づくり 大きくアピール



【空知署】5月26日、栗山町円山で「美しい森林づくり植樹祭」を開催し、爽やかな青空とそよ風の吹く中、自治体、森林愛護組合、NPO、緑のオーナーなど100名のみなさんが、トドマツの苗木1000本を心地よい汗をかきながら1本1本ていねいに植え付けました。

森林や自然のこと楽しく勉強

やっと暖かい季節になってきた北海道。

どんどんフィールドに飛び出して、いろいろ体感しながら、楽しく森林や自然とふれ合おう！



支笏湖復興の森づくり

春の観察会

【石狩署】 5月11日をメインデーとして千歳国有林で「支笏湖周辺台風災害復興の森づくり」の春の観察会を開催し、平成18年から行ってきた100^万10万本の復興植樹に関わってきたみなさんが集まりました。

当日は、12団体190名の参加があり、スコップを片手に観察と補植、またチシマザクラなどの記念植樹を行いました。

会場では今後の下刈り作業に向けた話も多数聞かれ、この活動の益々の発展が楽しみです。



学校内にある樹木を知ろう！

八雲町関内小学校

【檜山署】 5月21日、八雲町立関内小の全校児童5名と、「木の葉カルタ」や「樹木当てクイズ」などをしながら、楽しく校庭の木々の勉強をしました。

子どもたちはルーペで拡大した花や葉に驚いたり、クロモジの香りやキハダの樹皮の色や味を体験したりしながら、校庭にあるいろいろな木や植物を“再発見”していました。



森林認証の取得をPR

森林を見る会

【網走西部署】 5月28日、遠軽町において「森林を見る会」を開催し、22名の町民のみなさんを瀬戸瀬森林事務所森林官を解説員に、台風被害個所にトドマツを植栽した現場へ案内しました。

この会は地元の方々に国有林を見て、森林や林業に関心をもってもらいたい機会であり、当署が昨年度に管内国有林全域にSGEC森林認証を取得したことのPRの場ともなりました。



木のおもちゃで遊ぼう

釧路・遊学館

【釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター】

5月の連休中に釧路市子ども遊学館が開催した「木のおもちゃで遊ぼう」に、「樹木の種って不思議だね」（種の標本展示と紙による種の模型づくり）と「木工自由工作」コーナーを出展しました。工作では子どもたちが、木片や松ぼっくりなどを使い、目を輝かせながら、思い思いに個性豊かな作品を作り上げていました。

同館には期間中に延べ8000名の来場者があり大盛況でした。

【檜山署】 5月8日、江差町立江差北小学校のみなさんと、同町砂坂海岸林で春の動植物を学ぶことを通して自然環境を大切にすることを目的に、「新緑のグリーンスクール」を開催しました。

当日は砂坂海岸林が作られた歴史や植えられた木々の特徴や役割などを学んだり、タンポポを題材に、笛作りや、タンポポの茎を使ったシャボン玉遊び、コーヒーの代用品も作れること等を通じてこの森の草花に対する興味を深めました。

また、漂着物の多い海岸の清掃活動も行い、30分ほどでゴミ袋がいっぱいになりました。



新緑の砂坂海岸林の自然を学ぼう

江差北小学校

森林官 リレー

心豊かにふれあう海と大地

海へとつながる清流の源・国有林を守る



十勝西部森林管理署
広尾森林事務所
首席森林官
中村 仁志

サ ンタラント広尾町

広尾森林事務所がある広尾町は、日高山脈を源に持つ四つの河川が海に注ぎ、その豊かな自然を生

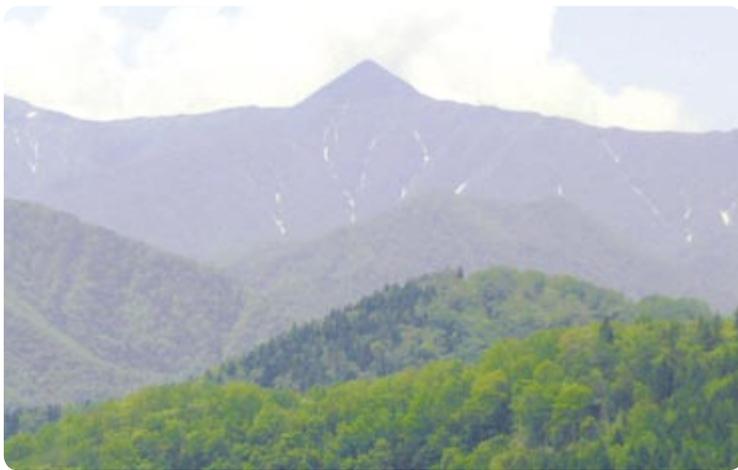
かした漁業を中心に、農林業を基幹産業として発展してきました。

昭和五十九年にはノルウエーのオスロ市から日本国内初のサンタラ

ントの認定を受け「愛と平和・感謝と奉仕」を基本理念としてサンタラントにふさわしい町づくりに取り組んでいます。

襟 裳岬へつな

同町の南側には襟裳岬へつながる通称「黄金道路」（国道三三六号）が走り、その沿線には切り立った国有林の断崖が続き、「フンベの滝」



ピラミッド型の特徴ある山頂・楽古岳 (1,472m)

広 葉樹とトドマツの森

やサーフィン愛好家が集まる「美幌海岸」があります。また、山側に目を向けると登山者で賑わう楽古岳がそびえています。

広尾森林事務所では同町の森林面積の約七十%を占める国有林のうち約一万二千畝を管理していま



今年の広尾町植樹祭

サ ケの遡上する清流・ 広尾川を守る

現在実行中の事業は林道の整備及び地況・林況調査で、日高山脈特有の急峻な地形の下で、安全には特に注意しながら作業を進めているところです。

広尾川は清流日本一に選ばれたこともあり、その源・国有林がこの清流を守るために果たす役割も大きく、その機能を維持することとはもちろん、国民の森林としての使命・目的達成に向け取り組んでいきたいと思っています。

広尾合同森林事務所

- 広尾町並木通東2丁目2
- 電話01558-2-3141



広尾合同森林事務所のメンバー（本人右）

レク 森 紹 介



国有林には、その自然環境を活かし、自治体等によって運営されるキャンプ場がたくさんあります。このコーナーではその魅力の数々を紹介していきます。



心洗われる湖畔のキャンプ

支笏湖 ポロピナイキャンプ場



サイトの背後には恵庭岳が迫ります



程よい木陰が広がる林間サイト



こんな絶景が眼前に広がるのもキャンプならではの

支笏湖の北岸に位置するポロピナイキャンプ場は、千歳市が指定管理者制度によって運営しています。サイトは観光施設から約二百メートルの森を隔てており喧噪とは無

縁で、支笏湖とその湖面に映る風不死岳や恵庭岳の織りなす美しい風景の中で過ごすキャンプシーズンは最高の休日を約束してくれま

は神秘的な美しさを湛え、静けさの中にテント六張りとかampingのみなさんが湖畔の空気を満喫していました。管理人さんにお話を伺うと、平成十八年から支笏湖への水上バイクなどの動力船の乗り入れが規制され、エンジン音の



DATA

- 利用形態 全域オートキャンプ可能
 - 施設 炊事場、トイレ、管理棟
 - 料金 大人300円ほか設定あり
 - 開設期間 10月中旬まで(予定)
 - 問い合わせ 0123-25-2755
- <http://www.shikotuko.jp/>

ない「静かな湖畔」に戻ったことから来場者が倍増、昨シーズンは一万二千人が訪れたそ

うです。「また来たよ」と声をかけてくれるリピーターも多く、うれしいことです」と話してくれました。施設は炊事場、トイレのみでシンプル。それでも必要十分と思わせるすばらしい自然が広がります。今夏はぜひキャンプに出かけてみませんか？



「ポロピナイで楽しい思い出を沢山作ってくださいね」と、キャンパーを優しく見守る管理人さん

国有林が広がる奥尻島・利尻島・礼文島

北の島だより

離島の森林事務所に勤務し、島民のみなさんとともに森林を守り育てる森林官・主任たちから届いた話題を紹介します。



みんなで島の緑を育てています

礼文森林事務所



①活動開始から10年目になる礼文島自然クラブ②町植樹祭に参加した新1年生③最北限の岬を望み森林づくり船泊中学校

ボランティア団体などが行う自主的な森林整備を推進するため国有林のフィールドを提供する、ふれあいの森「協定を結んでいる「礼文島自然クラブ」のみなさんが、四月二十六日（日）、礼文町香深井ふれあいの森「やませの森」において植樹活動を行いました。

この活動は今年で十年目になりますが、植樹してきた場所が、山の斜面一面に広がってきているのを見て嬉しくなりました。

また、町内では五月二十七日（火）に礼文町植樹祭、同三十日（金）に町立船泊中学校の植樹活動が行われました。

島内各地で色々な方の活動により礼文に緑が増えていくのは素晴らしいことだと思います。

愛情を込めて植えたどの木も大きく育ちますように！

（田島 礼文森林官）

巨木・不動の姿を見に来ませんか？

【北空知支署】北竜町恵岱別の国有林に自生する、推定樹齢800年、幹周り4.8㍍、巨木「龍神のオンコ」の圧巻の姿と、昨年植栽したこの巨木の遺伝子を受け継ぐ後継樹を多くみなさんに見てもらうために、この度、「龍神のオンコ」の看板を現場職員の手作りの案内板に取り替えて設置し、併せて観察路も整備しました。巨木の不動の姿と森林浴を楽しみに、ぜひお越し下さい。



○アクセス

道道増毛稲田線から鴨居沢に入り、途中の国有林作業道4.5㍍の終点から徒歩で200㍍。

百人浜展望台も大掃除 えりもクリーン作戦



【日高南部署】4月27日、えりも町でクリーン作戦が展開され、同町商工会、中国からの留学生らと共に、管理塔の大掃除と百人浜駐車場周辺のゴミ拾いを行い、観光シーズンに向けて準備万端です。

○管理塔の概要

平成5年に完成し、高さは13㍍。襟裳岬の緑化事業実施個所が一望でき、風速60㍍まで耐えられる設計です。観光シーズン中に限り一般開放しています。



各地からの便り



国有林の山菜を みなさんへ 遠別山菜まつり



【留萌北部署】 5月18日、遠別町の春の恒例行事「2008 富士見ヶ丘公園開き 山菜まつり」が盛大に開催されました。

会場では当署も参画する実行委員会が一生懸命採取した山菜を料理し、来場者に振る舞われ、みなさん春の味を満喫していました。

また、山菜無料配布には長蛇の列ができ、山菜の束を抱えたみなさんは満面の笑みを浮かべ、楽しい春のイベントになりました。

噴火から8年 有珠山の 自然を体感



【後志署】 地球環境問題が大きなテーマとなる北海道洞爺湖サミットまで、あと50日となった5月18日、洞爺湖町主催の有珠山登頂と火口原巡りが開催されました。

これは、ここ100年で4回も噴火している有珠山をよく知り、いざという場合に役立ててもらおうことが目的で、50名の参加者が講師（宇井北大名誉教授他）の解説に耳を傾けながら、有珠山の自然を体感しました。



おいしいナメコ 早く出てこ～い

5月22日、天塩町の森林ボランティア団体「てしお森遊会」が当署構内でナメコのホダ木づくりを行いました。

種駒を打ち込んだダケカンバの原木からナメコが出てくるのが今からとても楽しみです。



庁舎のまわりにもっと 緑を増やそう！

【旭川事務所】 ～自らの庁舎敷を緑化することが、地球温暖化防止に向けた植樹呼びかけの第一歩～ 5月15日、旧旭川地方国有林採石協会から寄贈されたナナカマド、コブシ、ウメ、アズキナシなど22本を、三田元採石協会会長、谷口北海道森林管理局次長の出席の下、全職員で植え付けを行いました。

地域のみなさんからは早くも「花が咲くのがとても楽しみ！」との声が寄せられています。

親子で楽しく トンカチ教室



【北空知支署】 5月18日、深川市の「ふかがわスプリングフェスタ」に巣箱を親子で作ってもらう「親子トンカチ教室」にて出店しました。

子どもたちは慣れないトンカチを持ち、釘をなかなかまっすぐに打てず、悪戦苦闘していましたが、親子で楽しく完成させ、労作の巣箱を大切に持ち帰っていました。

山火事への備え 消火機材 操作訓練



【根釧西部署】 4月21日、根釧東部署と合同で空中消火機材の操作訓練を実施しました。

これは有事に備えて毎年行っているもので、資機材の搬出、設置、給水ポンプの始動、散布装置への貯水、放水などの一連の操作を実地で訓練しました。



集団討論に取り組む研修生



北海道森林管理局では、国有林を適切に管理し、より一層国民に開かれたものとするため計画的に職員の研修を実施し、その責務と使命を自覚し、実行する人材の育成に取り組んでいます。

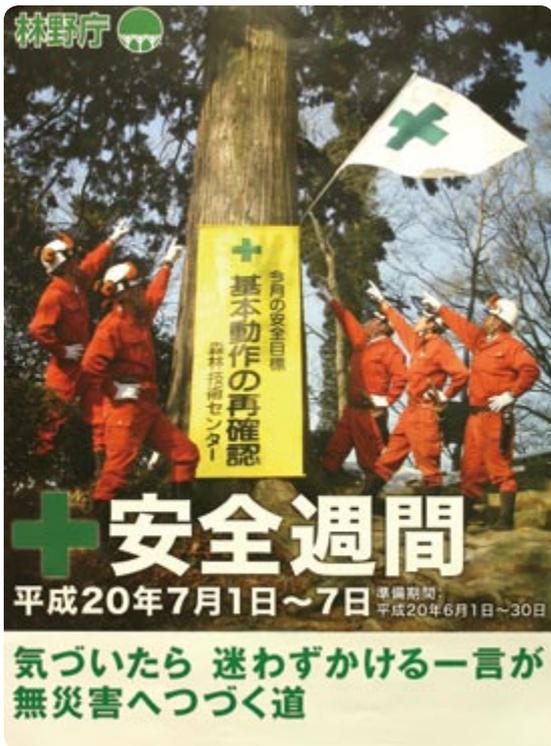
このコーナーでは、このような研修の様子を紹介します。

森林官Ⅰ研修

五月二十日～二十三日の四日間にわたって、森林官を対象に労働災害の未然防止とスキルアップを目指し森林官Ⅰ研修を実施しました。

研修では「災害の発生は氷山の一角で、現れない部分にはヒヤリハットの事例が累積している」との総務部長講話を受け、研修生は危険予知訓練の事例研究、コミュニケーションの実習などに真剣に取り組みました。

(総務課)



+++++
全国安全週間 始まります!
 +++++

平成20年度全国安全週間が7月1日から7日まで全国一斉に行われます。

本年度の北海道森林管理局の公務災害の発生状況については、5月期末で既に5件の発生をみえています。

また、平成19年度の災害件数は16件でしたが、同時期までは無災害で経過していたことを考えると異常なペースで災害が発生しています。

労働安全の確保は、明るい職場づくりや円滑な業務運営において欠くことができないものです。

安全週間及び準備期間を契機として、職場における労働安全確保の重要性についての認識を深めるとともに、これまでの労働災害防止対策の評価・検討を行うなど、各署等の現場実態に即した実効性ある計画を策定し、効果的な安全活動の展開を進めましょう。

(職員厚生課)

広報「北の森林 国有林」6月号 No.97

発行 北海道森林管理局

編集 保全調整課

〒064-8537 札幌市中央区宮の森 3条7丁目70

I P 電話 050-3160-6274

電話 011-622-5231

F A X 011-622-5235

<http://www.hokkaido.kokuyurin.go.jp/kyoku/>

- ▽六月二十八日(土) 北海道洞爺湖サミット記念「国際交流森林環境フトラム」 火口周辺国有林 外
- ▽七月一日(火) 北限のブナ復元プロジェクト委員会 後志署管内
- ▽七月四日(金) 森から海の連環を考えるシンポジウム 紋別市
- ▽七月二十日(日) 北海道森林スポーツフェスタ2008 in 定山溪 国有林

EVENT INFORMATION

行事・イベント情報